

# 登山専門部の活動報告 『普及』

秩父農工科学高等学校 高橋 浩

## はじめに

登山は『競技種目ではない』という点を、われわれ登山専門部の共通理解・共通認識としております。そのような観点から安全な登山活動、登山活動の多様化・活性化を図るために様々な取り組みを行っております。一方、スポーツクライミング（全国選抜クライミング大会を12月に開催）につきましては『競技種目』として、その普及と技術向上に積極的に取り組んでおります。

## 各大会を通しての取り組み（専門部常任委員会としての活動）

### ①学校総合体育大会

#### \*縦走の部（兼全国・関東大会予選会）

- ・男子予選 三峰口から雲取山を経て三峯神社に至るコースをメインザックを背負っての縦走をおこなっています。
- ・女子予選 三峯神社近くの旧大滝小学校三峯分校跡地をベースに雲取山をサブザックで往復するコースでおこなっています。また同コースを一般参加コースとしても使用。

このほか和名倉山コース（2泊縦走登山）や、初心者を対象とした武甲山コース（1泊往復登山）等を設定しており、各校の希望により隊を編成し、それぞれのコース・隊に応じて体力・技術・装備・設営・自然観察・マナーなどの観点を現場の状況に応じて指導しています。ただし、各項目に対して得点化はおこなっていません。（他県の予選および高校総体では得点化・競技化）

#### \*クライミングの部

川越ロッククラフト(室内人口壁)を会場に※ボルダリング大会を実施

※ロープを用いず登攀の難易度のみを求めるスポーツクライミングの1つのスタイル

その他、県岳連・日山協等の主催による大会に参加および専門部による合同練習会を開催

### ②地区新人大会

各地区の役員が企画し、各校の希望により参加コースを選択します。(複数の大会に参加も可能)

地区	登山様式	2017年度の予定コース
東部	スポーツクライミング	加須市民体育館（加須市）
西部	定着による往復登山	二子山・武甲山（横瀬町）
南部	沢登り	荒川支流谷津川地獄谷（秩父市）
北部	定着による往復登山	谷川岳（群馬県みなかみ町）

### ③県新人大会

福島県安達太良山域の箕輪山・野地周辺にて山スキー・スノーシュー・わかんによる積雪期の登山講習会をおこなっています。尚、1泊は雪洞を作りそこでの生活を体験します。例年20校以上が参加、本

年度は生徒・顧問総勢 150 名を超える参加でした。

### 講習会を通しての取り組み（遭難対策委員会としての活動）

#### ①生徒対象の講習会

##### \*夏山机上講習会

「観天望気」「天気図の書き方・読み方」「山での雷対処法」「熱中症の対応と予防」「山のファーストエイド」「自然保護」「自然観察・高山植物」「各校の合宿のメニュー」などをテーマに、専門部の教員や県岳関係者等を招いての講演会や、生徒による各校の発表をおこなっています。今年度は講演会のほか実技講習として「ロープワーク実習」を実施しました。

##### \*冬山机上講習会

「雪崩について」「雪洞生活の快適な過ごし方」「山域情報」「冬山装備」「冬のテント生活」等の講演会のほか、著名な登山家を招いての講演会もおこなっています。最近では、平出和也氏、田部井淳子氏、竹内洋岳氏（日本人初 8000m 峰 14 座登頂）などを招きました。

#### ②顧問対象の講習会

##### \*実技講習会

6 月谷川岳・1 月八ヶ岳で実施。主に雪上技術の向上、緊急時の対策、雪上・岩場での実践講習をおこなっています。また、2 月には新人大会と同時開催で指導者講習会を実施。

##### \*机上講習会 引率における義務と責任についての講習

###### ・情報収集

現地情報の収集と生徒の健康状態の把握

###### ・危険行動回避

ルート選択と気象予知

###### ・重篤な状態（熱中症等）の回避

水分・栄養分の摂取 荷重・ペース配分 トレーニングの指導 コース・行程の適否

### 登山活動検討委員会の取り組み

委員長（県立学校副部長）副委員長（高体連副会長）主査（保健体育課長）副主査（保健体育課主事）委員（登山専門部遭難対策委員長・副委員長・常任委員 4・5 名）から構成される委員会ですが、特に小委員会では『高校生登山活動の手引き』『登山活動指導の手引き』『高等学校登山活動の基準』『積雪期登山活動のあり方』などの検討や改定作業・長期休業中の各校の合宿の安全性に対する検討・指導をおこなっています。